

# 令和8年度 新入学1年生 定員のお知らせ

令和8年度入学の新1年生について、定員等は次のとおりです。

	学校名	定 員	通学区域内 新1年生数 (令和7年5月1日現在)
1	南 中	<b>180</b>	147
2	北 中	※ <b>256</b>	283
3	栄 中	※ <b>256</b>	314
4	彦成中	<b>104</b>	61
5	彦糸中	<b>104</b>	96
6	前川中	<b>180</b>	145
7	早稲田中	<b>180</b>	179
8	瑞穂中	<b>104</b>	49

注意 ※「定員」は学校規模から算出した新1年生の受入可能人数です。抽選後の入学予定者数や実際の入学者数とは異なります。

※「通学区域内新1年生数」は、令和7年5月1日現在の通学区域内新1年生の住民登録者数です。

## ※ 定員について

通学区域内及び兄姉が在学している方等の入学予定者（☆：通学区域内等入学予定者）が上記の定員を超えた場合には、定員を通学区域内等入学予定者数とします。  
北中と栄中の新一年生がそれぞれ283人、314人だった場合、北中の定員は283人、栄中の定員は314人となります。

この場合、通学区域外からの受入可能人数は0人となります。

## ○抽選について

通学区域外の希望者数が、通学区域外からの受入可能人数（★）を超える可能性が生じた場合は、抽選を実施します。（通学区域内等入学予定者は、抽選の対象外となります。）

### ★ 通学区域外からの受入可能人数の計算方法について

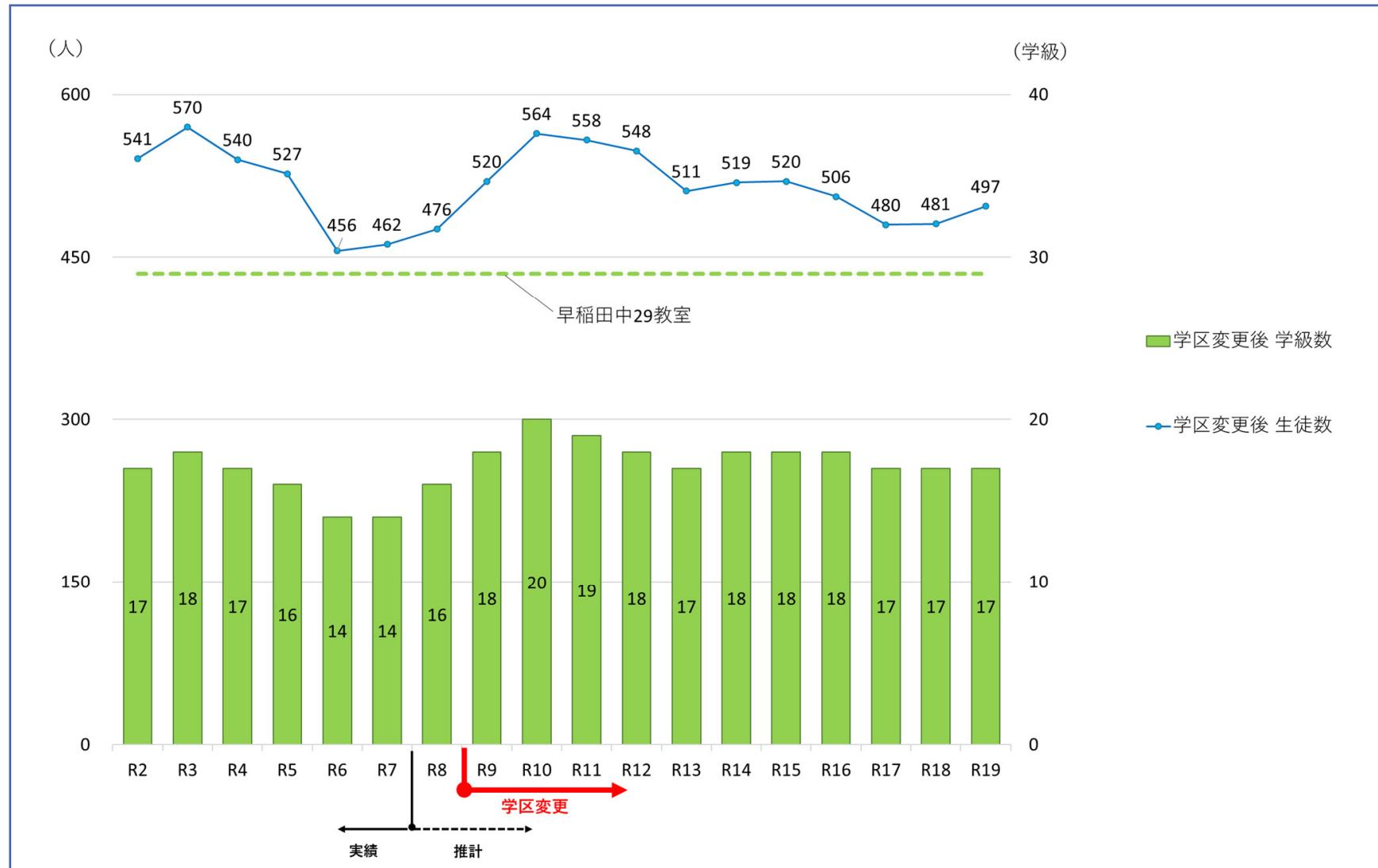
（定員）－（通学区域内等入学予定者数（☆））＝（通学区域外からの受入可能人数）

## ○希望者数の集計結果

希望選択票の集計結果は11月上旬に公表します。抽選を実施する場合は、抽選対象の学校名も併せて公表します。

抽選は11月15日（土）に実施を予定しています。抽選対象の学校を希望した抽選対象者へは後日、抽選の案内を送付します。

## 早稲田中学校 生徒数及び学級数の推移（早稲田小学区の武蔵野線以南が加わった場合）

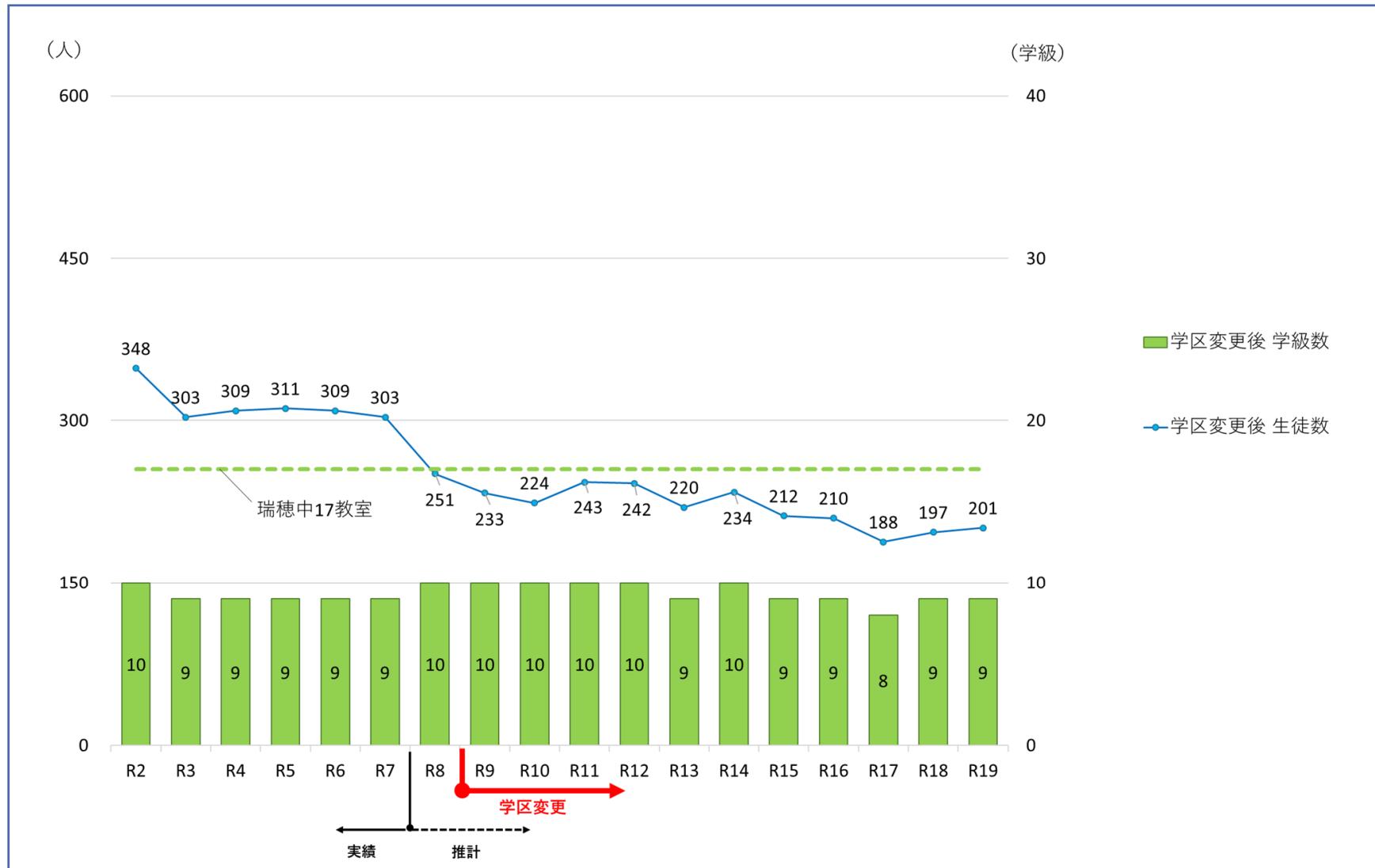


※1 推計は、令和7年5月1日時点の学区内居住人数に基づく

※2 推計は、学校選択制による入学見込者数を除く

※3 特別支援学級の推計は、生徒全体の2%として算出

## 瑞穂中学校 生徒数及び学級数の推移（早稲田小学区の武蔵野線以南が加わった場合）



※1 推計は、令和7年5月1日時点の学区内居住人数に基づく

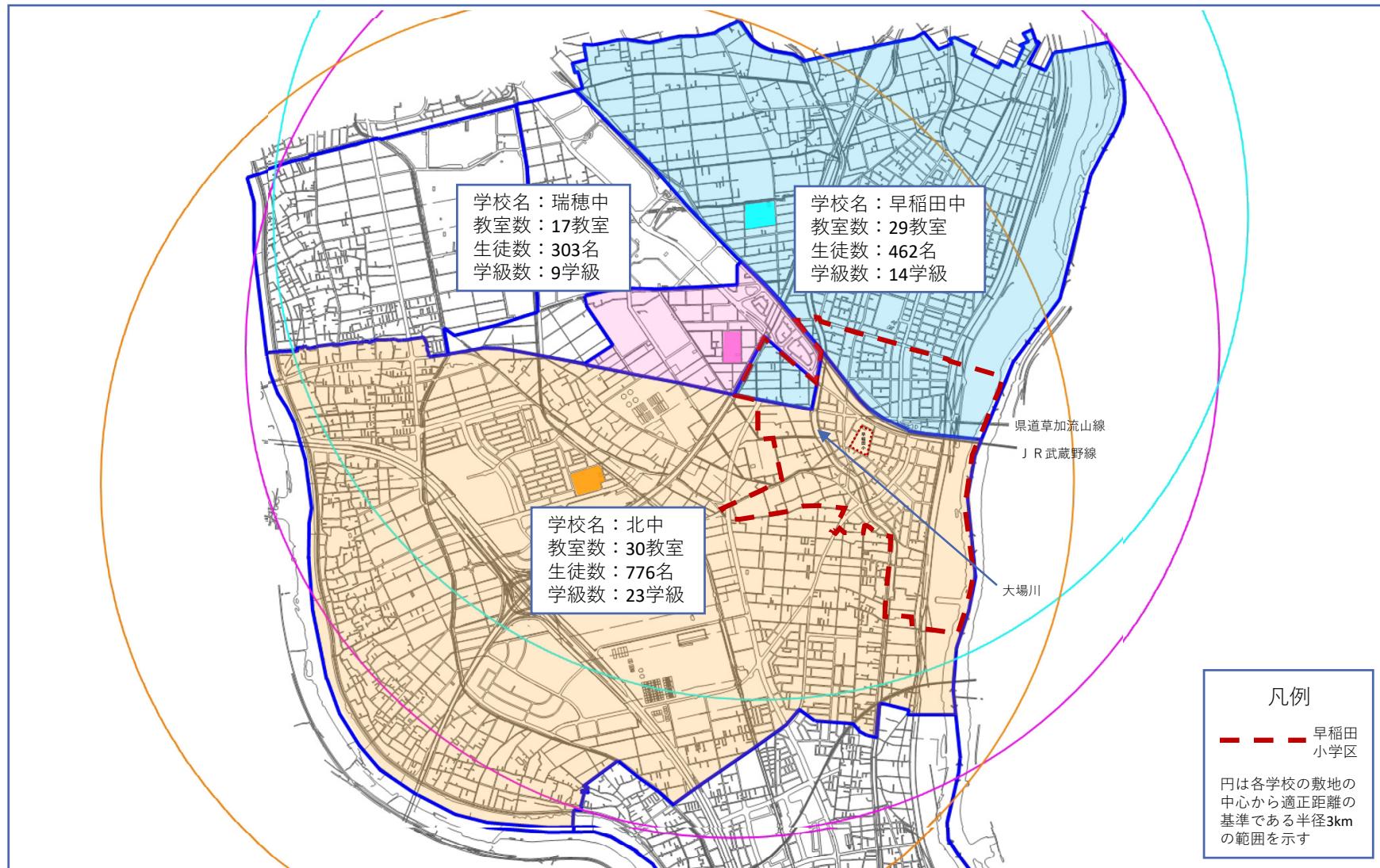
※2 推計は、学校選択制による入学見込者数を除く

※3 特別支援学級の推計は、生徒全体の2%として算出

## 早稲田小学区の武蔵野線以南の取扱いにおけるメリット・デメリット

	A案	B案
内容	早稲田中学校の通学区域とする	瑞穂中学校の通学区域とする
メリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>・早稲田小学校は中学校区が2校（北中学校と早稲田中学校）に分かれていたが、早稲田中学校の1校にまとまることで、児童への心理的負担が少なくなる。</li> <li>・瑞穂中学校が学校選択制で受け入れられる生徒数は減少しない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JR武蔵野線より南側の生徒が学校選択制で早稲田中学校を希望する場合は、就学できる可能性が高いため、選択肢が増える。</li> <li>・JR武蔵野線より南側の生徒は、線路の高架下を通る必要がない。</li> <li>・通学距離を短くできる。</li> </ul>
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登校時は、北から南へ登校する早稲田小学校の児童と南から北へ登校する早稲田中学校の生徒が、線路の高架下で交差することになる。</li> <li>・JR武蔵野線より南側の生徒は、瑞穂中学校を通り越して早稲田中学校に通うことになる。</li> <li>・JR武蔵野線より南側の生徒が学校選択制で瑞穂中学校を希望する場合は、抽選になる可能性が高い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・瑞穂中学校は勉強の取組が他の学校と違うというイメージを持つ保護者がいる。</li> <li>・瑞穂中学校が学校選択制で受け入れられる生徒数が減少する。</li> <li>・早稲田小学校の中学校区は引き続き2校（早稲田中学校と瑞穂中学校）に分かれる。</li> </ul>

# 各学校の概要



※ 生徒数及び学級数は令和7年5月1日基準